

## 「新規ビジネスのご案内」

### ビジネスの説明

#### 【主目的】

グリーン電気を普及させる「オフサイトコーポレート PPA」を進めるための太陽光パネルが設置できる土地を探し、発電事業者に土地を斡旋すること。

#### 【背景】

2011年の東北大震災の時に「福島原発」の事故を受けて、原発の多くを停止して、翌2012年7月より「FIT制度」が始まりました。

※FIT制度とは、経済産業省が2012年7月に開始した「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」のことです。FITという名前は「Feed-in Tariff（フィード・イン・タリフ）」の頭文字を取っており、日本語に訳すと「固定価格買取制度」を意味します。



この制度は、再生可能エネルギーからつくられた電気を、電力会社が“一定価格”で“一定期間”買い取ることを国が保証する制度です。FIT制度の対象となる再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電の5つ。自宅の発電設備としては太陽光発電がほとんどです。

FIT 制度の目的は、再生可能エネルギーの普及です。FIT 法にも「エネルギーの安定的かつ適切な供給の確保及びエネルギーの供給に係る環境への負荷の低減」と書かれているように、その背景には、国内におけるエネルギー自給率の低さや地球温暖化対策などのエネルギー問題が関係しています。

FIT 制度には適用期間が設けられており、容量 10kW 未満の太陽光発電の場合、期間は 10 年間と定められています。「卒 FIT」とは、その期間を過ぎて FIT 制度が満了することです。卒 FIT を迎えると、一般的に買取価格が大幅に下がってしまうため、余剰電力を売って以前と同じような収入を得ることが難しくなります。

★買取価格推移★

〈表〉太陽光発電(10kW未満)に対する買取価格の推移(1kWhあたりの税込買取価格) 3)

	10kW未満(太陽光単独)		10kW未満(ダブル発電)	
	出力制御対応機器設置義務なし	出力制御対応機器設置義務あり	出力制御対応機器設置義務なし	出力制御対応機器設置義務あり
2009年度	48円		39円	
2010年度	48円		39円	
2011年度	42円		34円	
2012年度	42円		34円	

下の表に続く

2017年度	28円	30円	25円	27円
2018年度	26円	28円	25円	27円
2019年度	24円	26円	24円	26円
2020年度	21円			
2021年度	19円			
2022年度※	17円※			

※調達価格等算定委員会「令和3年以降の調達価格等に関する意見」において取りまとめられた内容

このように 10 年が過ぎると「FIT」自体の意味が無くなり始めました。

そして 2015 年に採択された「パリ協定」  
気候変動枠組条約締結会議（COP21）で合意された。

ここで「化石燃料」による「二酸化炭素の増加」を止めないと、地球の温暖化が進み  
人類の危機が訪れるから、それを防ぐには「化石燃料」の使用を抑えるという話。

そして「SDG s (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)も取り組まざるを得なくなりました。

ここでは「SDG s」の事は説明しませんが、化石燃料（石炭・石油）での発電が、急に「悪者」になってしまい、日本は「再生可能エネルギー」にシフトしなければならなくなったのです。

日本における化石燃料の依存度は 2015 年では約 8 割にまで高まっています。  
そして欧州（EU）が「環境」を盾に、ルールを作り世界をリードしています。  
どうしても世界の流れに逆らうことが出来ません。  
だから「再生可能エネルギー」を増やすしかないのです。

現在「原発」の稼働率は非常に低いです。  
これは「福島」の事を考えれば仕方ありません。

昨今の日本の電力不足により、「自由電力」を導入した人達は、電力市場の急激な値上げに対応できずに、高い電気料金を払わされたり、自由電力自体の破綻も相次いでいます。

これは「火力発電」を縮小したせいで、電気の余剰がなくなったせいです。

でも「SDGs」「RE100」「グリーン電力」の流れは留まるどころを知らず、さらに勢いを増しております、世界有数の企業から「グリーン電力 100%使用」を目指し、これが出来ないと「ESG 投資」の影響も受け、更に「環境に配慮していない」と、烙印を押されるのを恐れているからです。

### 【オフサイト PPA が必要とされるわけ】

世界の「Amazon」も「NTT」も、世界で活躍している大企業から一気に流れが来ています。  
「Amazon」は日本の関東・関西にデータセンターを 10 か所ほど持っています。  
そして「グリーン電力（再生可能エネルギー）」を使っていると、世界に向けて発信するのが「当たり前」と考えて、皆が知らないうちに進めています。

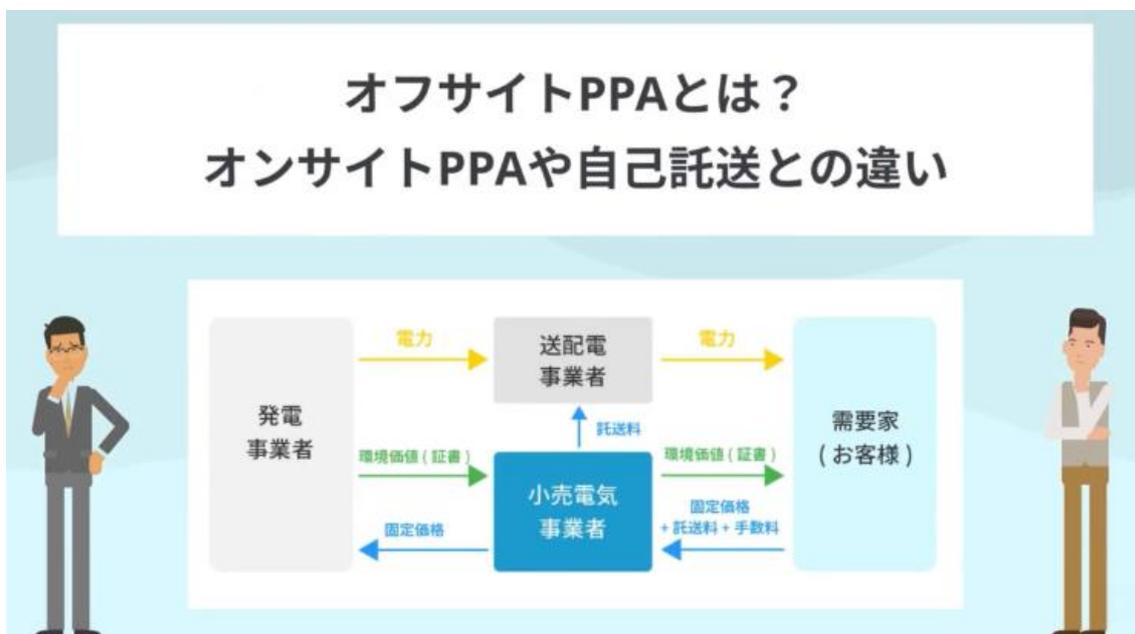
それは現在多くの問題を抱えている「メガソーラー」ではなく、必要な 22MW の電力を日本の 450 か所から集める方向で動いていますし、「NTT」も同様に、伊藤忠商事を使い日本の 750 か所の太陽光発電所から「グリーン電力」調達に走っています。

今までは「FIT」で売電するか、自社で消費するしかなかった。  
自社消費を「オンサイト PPA」と言います。

例えば地方の自社工場は敷地内やその近くから「グリーンエネルギー（非化石証書）」を調達できますが、都会では難しい。  
だから遠方に「自社所有」もしくは、「発電事業者」から直接買取りして、その分は「自社分のグリーン電力」を使用していると宣言したい。  
当社は「グリーン電力 100%」と宣言したいのです。

この流れは当分止まらないでしょう。  
またこれは、国というより「企業」が独自で動くことです。

「オフサイトコーポレート PPA」を図で説明します。



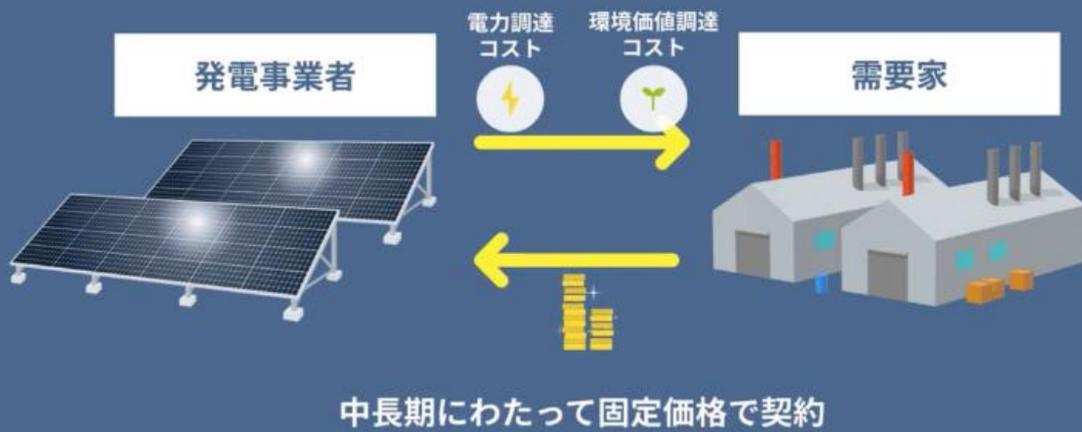
## オフサイトコーポレートPPAとは

電力の需要場所から離れた土地に太陽光発電所を所有する発電事業者が、太陽光発電所で発電された電力を需要家が所有する遠隔の需要場所に供給する契約形態です。

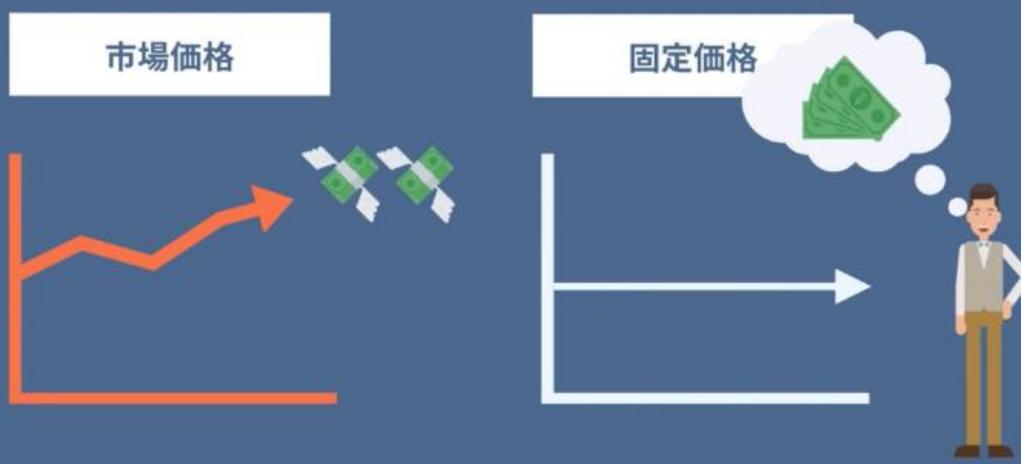




## 電力価格の変動リスクの軽減



## 電力価格の変動リスクの軽減



## ⚡ 環境価値付きの電力を大規模に調達できる

オフサイトコーポレートPPAで供給される電力は、発電所から一般の電力系統を通して需要場所に供給されるまでの過程を最初から最後までトラッキングすることで、需要家が消費する電力を再生可能エネルギー由来の電力だと証明できます。



## ⚡ 環境価値付きの電力を大規模に調達できる

さらにオフサイトPPAの利点は土地の所有に関わらず設置することができるため、屋根上だけで消費する電力を賅えない企業でも大規模な再生可能エネルギーを調達することができます。



 追加性がある



## オンサイトPPAとの違い 環境価値

### オンサイトPPA



### オフサイトPPA



## オンサイトPPAとの違い 環境価値



## オンサイトPPAとの違い 環境価値



脱炭素化 再エネ化

RE100 TCFD

SCIENCE  
BASED  
TARGETS

トラッキングが不可欠

## 自己託送との違い 契約形態

### オフサイトPPA



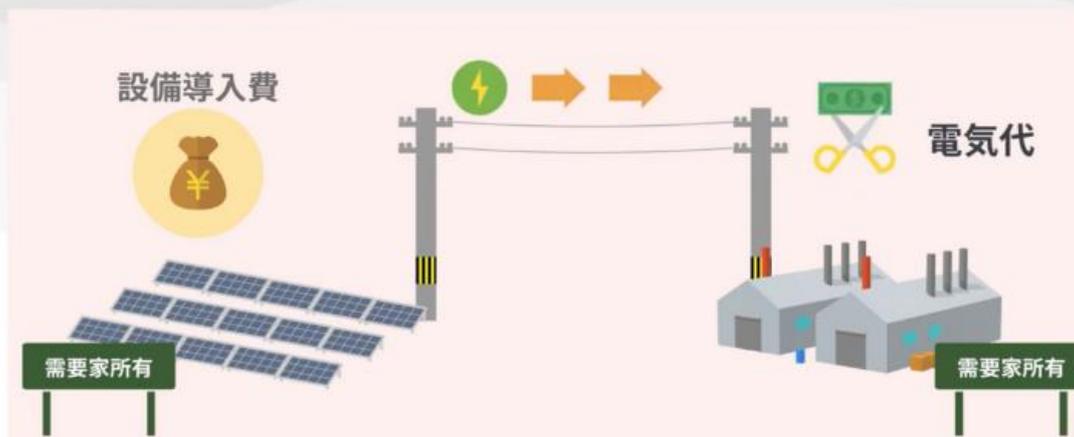
PPA契約の締結

### 自己託送

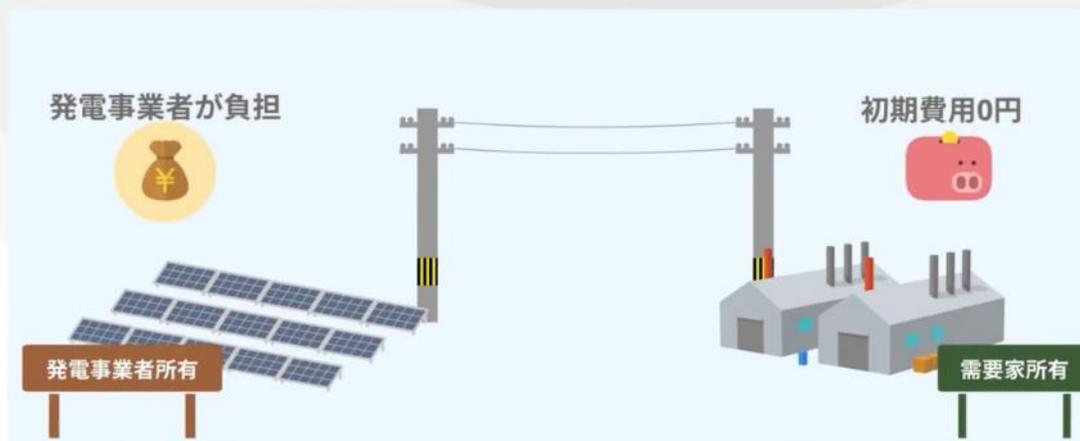


他者との契約はなく  
電力の供給は自社内で完結

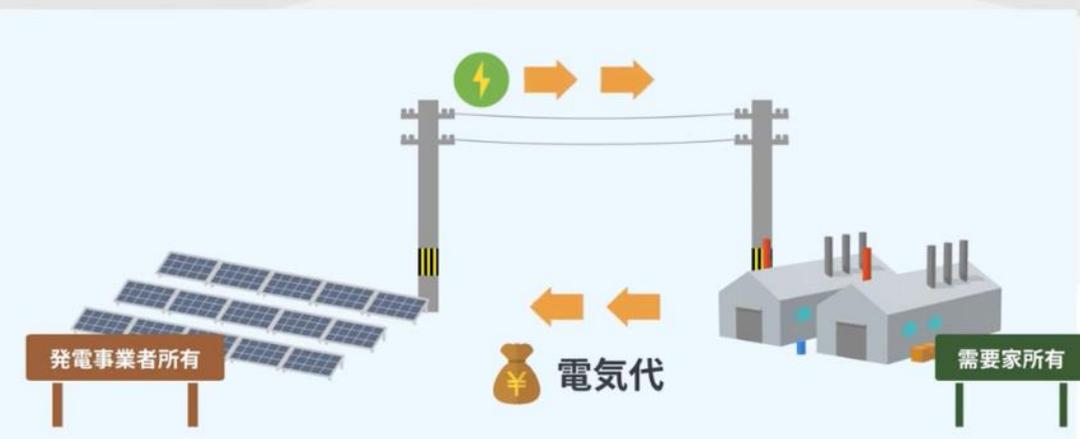
## 自己託送の場合



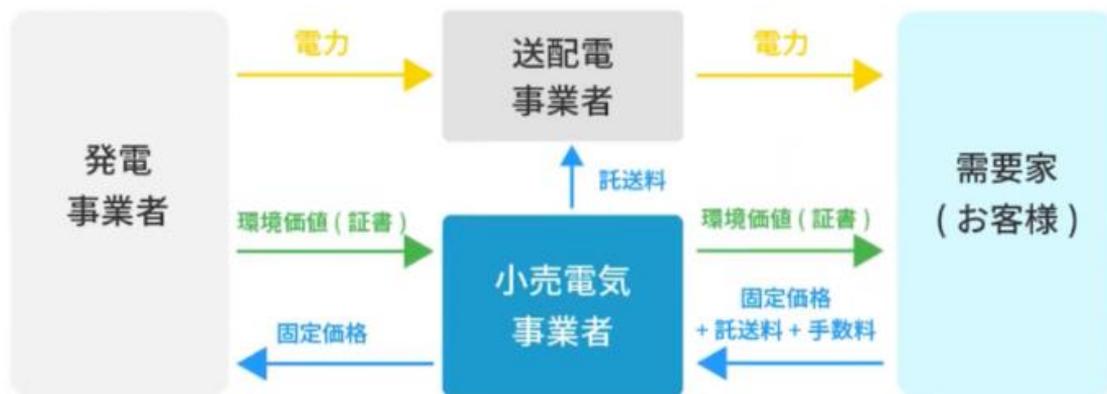
## オフサイトPPAの場合



## オフサイトPPAの場合



## オフサイトPPA



どうでしょう。

現在「メガソーラー」設置は非常に厳しい状況になっています。  
しかし、小規模な発電設備は、もっと欲しいのが現状です。

東京都の小池知事の「太陽光パネル設置義務化」はどの様になるかはわかりませんが、  
原発の稼働ができて、国連で約束した数字に少しでも近づけるには、太陽光発電しか  
無いのが現状です。

そして始まった今がちょうどいい時期です。

あと 3 年も経てば、空いている土地も無くなっていき、このビジネスチャンスも消えてい  
きます。

太陽光パネル設置が嫌だという人には、お勧めしません。

実際に僕らがやらなくても、ドンドン設置されていくと思います。

ただ、このようなチャンスが目の前にあるのであれば、ビジネスとして考えてもいいので  
は、と考えております。

チャンスはその場所にはないと訪れません。

### 【具体的に何をやるのか？】

- ① 持っている土地を売却してもいい、という人を見つける。
- ② 土地の地番・地目・面積が知りたいので、とりあえず「地番」だけでも OK。
- ③ 送電するので、近くに「電柱」があるかどうかの確認。
- ④ できればその場所の写真。

大体この①～④をまずやって頂きます。

その後、法的な問題が無いか？そのエリアに問題ないか？等の調査に入ります。  
また坪単価は、実際に現地調査等が済まないと出ませんが、大体 1 坪 3000 円前後が  
買取価格になると思ってください。

※日本全域が対象となります。どなたでも構いません。

【報酬は？】、【参加するには？】については、ここまで読んでくださって、興味のある方  
だけにお伝えします。さらに詳しく事業説明します。

下記メルアドに「PPA 興味あり、資料欲しい」と送ってください。

MAIL : yukimm425@gmail.com

スクラップマスター南